

春学期クラス活動報告

中上級Ⅱクラス：砂町水再生センター

中上級Ⅱクラスは、江東区にある砂町水再生センターへ。まずは、アニメビデオを見て、生活排水がきれいな水になっていく仕組みを学びました。学生たちは、下水から再生された水がどんな用途に使われるのか、飲み水に使われているのかどうか、とガイドを質問攻めに。納得すると、いざ、処理施設の見学へ！！最初は、若干の臭いが気になったものの、下水が沈殿池を経てきれいになっていく様子にすっかりひき込まれていきました。身近な問題であるだけに、「とても勉強になった」「つまらなそうだったけど、とてもおもしろかった」などの声が聞かれました。



中上級Iクラス:本所防災館

日本に住んでいる限り、何らかの災害に見舞われるかもしれません。中上級Iクラスでは、防災意識を高めるため、本所防災館で防災について勉強してきました。消火器の使い方、火災の際の避難の仕方、震度7の地震、風速30m/hの暴風を体験しながら学びました。今までは、自分に関係のないことだと思っていたようですが様々な体験を通して、決して他人事ではない災害の恐ろしさや備えの重要性を知ったと言っていました。インストラクターさんの話を真剣なまなざしで聞いていました。万が一のとき、自分の身を守るためにどんな行動をしなければならないのかを考え、生活して欲しいものです。



中級Iクラス：江戸東京博物館

中級 I はAとB合同で両国にある江戸東京博物館へ行きました。江戸時代から現代の東京までどのように歴史や街、文化、暮らしなどが変化をしてきたのを見たり聞いたり、触ったりしながら学ぶことができました。中には、自分の国と日本の関係性を考えながら歴史的な展示物を見たり、日本語での説明を一生懸命に読んでいる生徒もいました。帰り際には「楽しかった。」という声を多数聞くことができました。普段の生活の中ではなかなか知ることのできない、日本の歴史に触れることのできるいい機会になりました。



初級Ⅱクラス：下町風俗資料館

初級Ⅱ A Bクラス合同で、上野にある下町風俗資料館に行きました。

出発前に、「昔の日本を見に行こう」をテーマに、大正時代は古いものから新しいものへの移り変わりの時代だという背景を共有してから出発しました。

資料館には、大正時代の民家や商店などが展示してあり、生徒たちは皆、興味深そうに見学し、積極的に教師や係員に質問していました。また、昔のおもちゃやパズルゲームなどで自由に遊ぶブースでは、初めて触るおもちゃに夢中になり、国は違っても、どこか懐かしそうにしていました。「面白かった」「楽しかった」という声も多く聞かれ、現代の東京しか知らない生徒たちが、日本の歴史と文化に触れられるいい機会になったと思います。



初級 I クラス: 学校周辺散策

初級 I ABCクラス合同で、「まちを歩きましょう！」をテーマに、いつも勉強している学校周辺の施設や街について調べる活動をしました。

湯島図書館では、利用する時のために休館日や開館時間などを知ることができました。おりがみ会館では、花や動物などの複雑な形に折られたおりがみを見て感動した様子でした。活動中、街の人と自然に日本語で話す機会があり、「先生以外の日本人と話すのは緊張したけど、話すことができました！」と、勉強した成果を発揮できて嬉しそうでした。

学校へ戻ってから、白地図に街の情報を書き込んで、グループごとにオリジナルの新聞を作成しました。写真を貼ったり、折り紙作品で飾ったりして、それぞれに特色ある新聞が出来上がりました。活動全体を通して、街の人や違うクラスの人など、これまで話す機会がなかった人とコミュニケーションをとることができ、充実した時間となりました。

